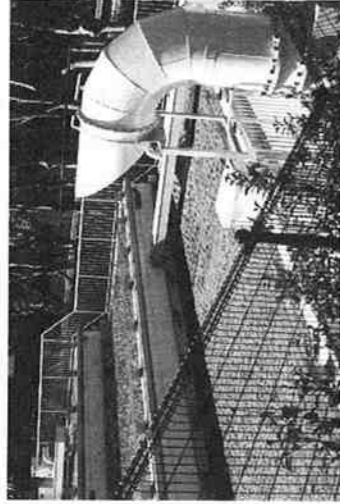


わがまちまごめ

発行 所
事務局長 張 出 張 所
〒143-0027 大田区中馬込3-25-5
☎(3774) 3301(代)



△松原橋は
ワースト2
ところが、窒素
酸化物と浮遊粒子
状物質は、研究努
力や規制にもかか
わらず、環境基準
を達成できません。
全国の道路沿い
の三四六か所に、
自動車排出ガスの

そこで、人の健康を保つために、大気汚染原因物質をこのくらいまで減らさなければいけないという許容範囲を『環境基準』として設定。これを目標に、排出量の少ない車種に替えたり、低公害車の普及・促進に努めたり、と工夫を重ねた結果、二酸化硫黄(SO₂)や一酸化炭素については環境基準を満たせるようになり

△大気汚染原因物質と環境基準
自動車ガソリンや軽油を燃やして走るときには排気ガスを噴き出します。その排気ガスの中で、硫黄酸化物(SO_x)、一酸化炭素(CO)、窒素酸化物(NO_x)、浮遊粒子状物質(SPM)などは、人に喘息や気管支炎などの呼吸器疾患を引き起こしたり、光化学スモッグや酸性雨の原因になったり、植物を枯らすなど、さまざまな害をもたらします。

今、馬込の真ん中で
公害防止の実験が！

国道一号と環状七号線が交差する松原橋の西側ロータリーの緑が、大きく取り払われたことに気付かれた方もあることと思います。なぜ希少な緑を無情にも削り取ってしまったのかと、疑問をもたれた方は多いことでしょう。

その疑問に答えます。じつは、自動車の排出ガスの中から、窒素酸化物と浮遊粒子状物質の二つにターゲットを絞って、今、大気浄化の実験が始まっているのです。

測定器を設置して定点観測をしています(自動車排出ガス測定局)、窒素酸化物と浮遊粒子状物質が環境基準をクリアした地点はまだ多くありません。

とりわけ交通量の多い松原橋測定局では、平成十三年度調査で全国ワースト2を記録しました。馬込に住む私たちにとり不名誉なことですが、私たち馬込の住民が排出したものではありません。

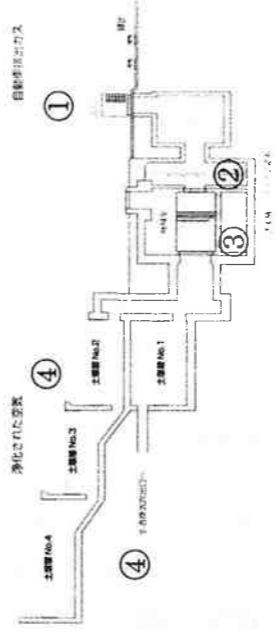
△環境基準達成の試み
そこでいま、この窒素酸化物と浮遊粒子状物質を取り除くことが、大気浄化の急務になりました。国土交通省と東京都では、この問題の解決に向け、都内二か所で現場実験を開始しました。

そのうちのひとつがこの松原橋です。

松原橋付近に漂う大気汚染物質を吸引し、汚染された空気中の一酸化窒素は、プラズマ処理によって二酸化窒素に変換された後、土壌へ送気され、微生物等によって分解・浄化するという方法です。

一方、浮遊粒子状物質は、主に土壌のろ過効果によって土壌中に捕捉され除かれます。

図の①は吸気口。松原橋下、環状七号線外回り側にあります。③の毎時95000m³という強力な送風機で吸引しています。②はプラズマ装置。プラズマはプラスとマイナスの電極間に電圧をかけることで発生させることができるもので、



に住むさまざまな微生物が、無害なものに分解してくれるのです。

浄化された大気は④の土壌層の表面と環七通り都営地下鉄出入口上部の吹出口から、もとの大気中へ戻ります。

機械室のモニターに映し出されたデータを見ると窒素酸化物と浮遊粒子状物質は、大気中濃度が小さくなっていることがわかります。

とくに二酸化窒素は劇的な変化をしています。そして、どれも環境基準をクリアしています。

土壌層に沈着した窒素が肥料になって一段ときれいな草花を咲かせたりその草花の間から浄化されたきれいな空気が吹き出して、汚れた大気と入れ替わるのです。

しかし、気象条件や風による大気の拡散や、装置の規模と有効範囲の関係などさまざまな課題があります。

まだ、実験は緒についたばかりです。実験の成功と実用化への課題克服に期待して、見守っていきたいと思います。問い合わせ先 東京国環事務所 3214-17424

モニター画面		吹出口側
吸気口側	→	
NO	0.212ppm	0.046ppm
NO ₂	0.081ppm	0.000ppm
NO _x	0.294ppm	0.047ppm
SPM	0.026mg/m ³	0.007mg/m ³

常温で酸素分子を活性化させることができ、その活性化酸素で、一酸化窒素を二酸化窒素に酸化させることができます。

このように、土壌で分解されやすく変換されたものが、④の土壌層へ送気され、土中の水分に吸着溶解され、それを土壌中

戦争疎開での人形

太平洋戦争が激しくなった一九四四年(昭和十九年)に馬込地区小学校の子どもたちは、山形のお寺などに疎開しました。それは、三年生から六年生までの子どもたちでした。

食べるものも少なく、おなかにはペコペコ。大豆をぼりぼりかじりながらがんばりました。

やっと戦争が終り、山形から馬込に帰る日が来ました。お世話になったお寺の和尚さんに、小さな人形を作って記念に贈りました。



その人形は学童疎開展に展示するために、平成三年馬込に帰って来たことはわかっていましたが(「わがまちまごめ」第2号参照)、その人形が今どこに保管されているのか、どうしてもわかりませんでした。

その人形のありがたがやつとわかりました。ありました！ありました！志茂田小学校の中にある教育資料室の金庫の中に保管されていました。現在は教育センター(池上会館併設)に保管されています。

作った人々の名前も一部ですがわかりました。大湊直子・清水小百合・清水黎子・高山マツコ・波田野チカ子さんたちでした。



その後の 貝塚中学校

学校紹介 その七

南にシクラメンの温室があり、北には貝塚公園、静かな環境にある貝塚中学校も、今年で四十二年目を迎えます。平成十三年には開校四十周年の記念行事が行われました。

貝塚中学校の校門を入って行くと、以前と変わらぬ校舎が見えます。しかし、どこの学校でも見られるように、この十年間に生徒数がかなり減少してきました。多い頃は、四十人学級で各学年七クラスずつあったクラス数が、現在では、三十数人で三、四クラス。総生徒数が三六四名です。

○学校と家庭を結ぶ通信

各学年通信は毎週発行されています。保護者の一言コーナー、生徒たちが過ごした一週間の感想、思いついたこと、または先生からの一言、報告等が、わかりやすく楽しめるように工夫されて書かれています。型にはまらず、先生・保護者・生徒の素直な気持ちがあるまま表現され、まるで親子で交わす日記のような、温かみのある通信となっています。また『学校だより』も発行されていますし、校長先生の手書きの『校長室つうしん』も時々発行されています。



これらたくさんの通信物は、学校と家庭との緊密な連絡に役立っています。

○続けられている伝統行事

毎年十二月から一月にかけて、全校生参加による学年ごとの百人一首大会が、体育館で行われています。大会で読みあげる声が体育館の外にまで聞こえ、足を止めて聞きいつている人もいます。

剣道部の寒げいこも続けられています。また三年生の修学旅行の見送りも十年前と変わらず、学校の屋上で振られる旗とハンカチ、新幹線の車窓からストロボの光で応えるようすは、今も感動的な行事として続いています。



また文化祭(若木祭)では、全学年クラス別合唱コンクールが行なわれています。そのための練習の積み重ねによって、クラスメートの団結力が高まり、生徒たちにとっても最高の思い出となるようです。

○それぞれの体験学習

昨年、一年生は福祉体験学習をしました。実際に車いすに乗ってみて、車いすでの行動の大変さ、妊婦さんのお腹が大きい時の不自由さなどを体験しました。

また二年生は、全員が四十四事業所、(消防署・老人ホーム・保育園・スーパーマーケット等々)に分かれ、職場訪問の総合学習(職業体験学習)授業が実施されました。職場体験心得十箇条というプリントを配布して、事業所や、商店等、先方に迷惑をかけないように注意、指導のもとに行なわれたそうです。

この他にも、ボランティア活動としては、生徒会が中心になり、生徒たちによる近くの貝塚公園の清掃を週一回行なっています。

卒業学年の三年生は、各クラスの一班ごとに校長室で昼食会を開き、校長先生は卒業式を迎えるまでに、三年生全員と食事をされるそうです。

貝塚中のアットホームな環境作りのため、飯島忠校長先生をはじめ、先生方が、いろいろな面で努力されているようすの伝わってくる今回の訪問でした。

馬込東中学校の
空き缶回収のその後
毎年行なわれている空き缶回収の代金で、今年二月にラオス、ウエンチャン県の十一校の小学校に、ボールや運動靴・運動着・筆記用具などを送ることができました。

馬込情報

◎区政功労者表彰^{5/6} 大田区民アラザ加藤鎌吉⁵ 選挙審査会委員10年以上

丸山慶祐⁵ 民生委員・児童委員
宮内都⁵ 10年以上在職者
山邊宗次⁵

小島弘幸⁵ 消防団30年以上在職者

大塚友忠⁵

加藤精一⁵

伊達信⁵ 自治会・町会

大塚誠四郎⁵ (会長・副会長)

濱福秀夫⁵ 10年以上在職者

阿部貞男⁵

古川ミツエ⁵

羽賀進⁵ 善行者・人命救助者

福久孝次⁵

◎14年度消防署長感謝状

小河原哲、小菅滋、小田茂、青木満代、池田武司、加藤和男、(株)東京イン、(株)江黒材木店、馬込長生会、大田区立馬込小学校、菅崎貞、齊藤美代吉、北村富雄、内田和美、畔川次男、畔川恵美子、大江八重子

◎園部康正記念絵画展^{3/19} 3/23会場アプリコ。馬中同窓生たちが企画

◎馬込文士村大桜まつり^{4/6} (1)

満開の花の下、東中のストリートダンス・馬込中のソーラン節。流し踊り・阿波踊りと盛会でした。

◎池上警察署新庁舎完成

三月二十八日から業務再開

◎大田区子どもカーゲームパーティー^{5/11} (1) 本門寺公園。楽しい一日でした

◎まごめ子まもり会^{5/25} 宗福寺

講演会・落語餅つき座禅等の体験
馬込産野菜の即売の模擬店。八町会と五商店会協力のもと開催。

◎九町会合同防災訓練^{6/8} (1) 馬三小

◎三町会合同防災訓練^{6/22} (1) 梅田小

◎第八回馬込大盆踊り大会^{7/19} 7/20

18時から。馬三小校庭。出店多数

◎馬込特別出張所長の異動

二年間勤められた長堀利一所長がくすのき園長に転任されました。後任は狩野公明氏。群馬県出身。大田区在任。前職場は防災課。趣味は読書とスポーツ、特にスキー。抱負は、文士が愛した馬



込の町を再発見したい。

◎都立南高校公開講座

(1) 教養としての仏教^{6/20} 7/18 毎週(金)

(2) 平安時代の戦争を読む^{7/1} 7/22 (火)

(3) ターゲットバードゴルフ及びゴルフ初心者講座^{9/4} 10/9 毎週(木)

詳細は東京都広報、大田区報掲載

編集後記

○この48号では、紙面の都合で文芸欄が掲載できませんでした。ご了承ください。

○松原橋で公害防止の実験が始まっていたとは知りませんでした。

一年前にここと同じ大気浄化の実験を行なっている板橋区の大和町では、よい結果が出ているようです。馬込でも期待できそうです。

○4月13日、投票票された知事選。大田区の投票率は44・40%前回より10%の低下にとどまり、23区では最小の落ち幅だったそうです。

○3月20日、ついに米英軍主導でイラク攻撃が開始されました。21日目にはバグダットが制圧され、フセイン体制は崩壊。26日目にはイラク全土をほぼ掌握したとの報道。一日でも早く世界に平和がも

どることを心から願っています。